

様式第2号（第3条関係）

(表)

予約採用

茨城県教育委員会

(裏)

本人の履歴	年　　月	中学校卒業	年　　月
	年　　月		年　　月
	年　　月		年　　月

以上のとおり記載に相違ありません。
 奨学生として採用の上、奨学資金を貸与されるようお願ひいたします。
 なお、採用の上は、茨城県奨学資金貸与条例及び同条例施行規則その他の関係規程に従い、奨学生としての責務を果たすことはもとより、奨学資金の返還その他の義務についても、両名連帯の責任を負うことを誓約いたします。

令和　　年　　月　　日
 ふりがな

本　　人　氏　　名
 ふりがな

連帯保証人　氏　　名

現　住　所

生年月日

続　柄　本人の(　　)

茨城県教育委員会教育長 殿

(記入上の注意)

- 1 ※印のところは、該当するものを○で囲むこと。
- 2 奨学金の貸与希望期間は、入学一時金の貸与だけを希望する者については記入不要であること。
- 3 入学一時金貸与の出願者資格は、月額貸与とは異なるので留意すること。
- 4 家計内容は、家族全員の収入ができるだけ詳細にありのまま記入し、父及び母又はこれに代わって家計を支えている者について、前年の収入を証明する書類を添付すること。
- 5 家族の状況のうち、別居者については、続柄の前に×印を付けること。
- 6 家族経済状況及び奨学資金希望理由は、具体的かつ詳細に記入のこと。
- 7 本人の履歴は、必要に応じて適宜修正し、入学、卒業のほか、休学、転学、退学、身分の異動等も理由を付して漏れなく記入のこと。
- 8 連帯保証人は、独立の生計を営む父母兄姉又はこれに代わる者（本人が未成年者であるときは、親権者又は未成年後見人）で、将来、奨学資金返還の責任を負う者であること。
 なお、出願の際は連帯保証人1人でよいが、奨学生として採用されたときは更に別の保証人1人を要するから、あらかじめ考慮しておくこと。
- 9 所定欄に記入のないものは、判定材料を欠くものとして不採用とすることがある。